

(活動報告書様式)

団体名	赤倉温泉振興対策協議会		
事業名	赤倉温泉de遊ぼう プロジェクト		
助成事業区分	協働助成事業(一般型)【自由提案部門】		
団体の 所在市町村	最上町	事業費	346,632 円
		うち助成金額	300,000 円

◆事業目的

近年観光客の減少が著しい赤倉温泉ですが、新規の観光需要の創出と赤倉温泉が持つ地域資源についての新たな楽しみ方や温泉施設の新たな利活用を見出すことを目的として「温泉 de 遊ぼう」を企画し、観光誘客と赤倉温泉を中心とした最上地域全体の活性化につなげるものです。

◆実施内容

赤倉温泉の地域資源である観光・食・温泉を ①新たに完成した最上小国川流水型ダム
②最上町産最上早生そばをキーワードとして、「温泉 de 遊ぼう」を展開しました。

①第1回 温泉 de 遊ぼう【～ダム de 自然の恵みを感じる～】

10月25日に旅館「湯沢屋」にて9名を集客し、最上小国川流水型ダム見学、環境にやさしい石鹸作り体験、岩魚と地元産野菜を使ったお弁当を提供しました。

令和元年度に完成した全国でも珍しい流水型のダムと自然の関係性を知るワークショップを行うことで、赤倉温泉の新しい観光名所への関心度を高めてもらいました。

↓石鹸作り体験の様子



②第2回 温泉 de 遊ぼう【～自分 de 作る手打ちそばを味わう～】

11月29日に旅館「三之亟」にて6名を集客し、旅館の旦那衆が指導するそば打ち体験と実食を行いました。

毎年開催されるそばまつりでも定評のある赤倉温泉各旅館の旦那衆による手打ちそばの魅力と打ち方を伝え、そば打ち体験を観光の1つとして定着を目指せる内容となりました。

↓そば打ち体験の様子



◆事業の成果及び今後の展望

①事業の成果

集客目標各5名に対して、1回目は9名、2回目は6名と目標を超える応募があったことから、観光客が減少しつつある赤倉温泉で「温泉 de 遊ぼう」の開催による、地域資源の魅力の再発見、新たな観光資源への定着、新規客層の増加と獲得、温泉街の活性化という効果をあげることができました。

②今後の展望

赤倉温泉やダムに関わる各団体及び最上町、最上総合支庁などとの連携を図りながらイベントPRを継続し、「温泉 de 遊ぼう」を最上地域を代表するイベントとして展開できる可能性を考えています。

↓PRチラシ

